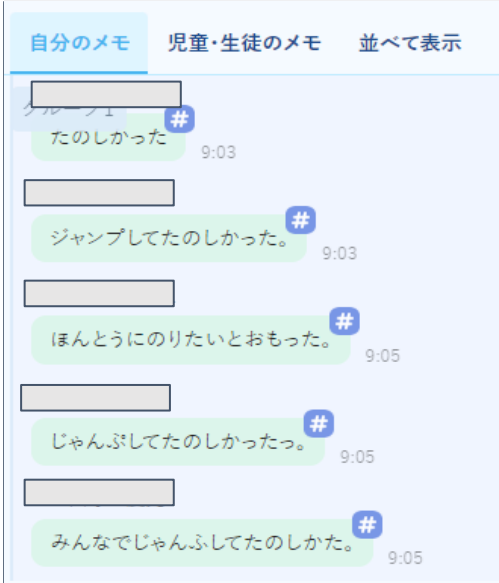


【1年 国語 くじらぐも】「学習支援アプリで振り返り共有」



自分のメモ 児童・生徒のメモ 並べて表示

たのしかった # 9:03

ジャンプしてたのしかった。 # 9:03

ほんとうにのりたいたいとおもった。 # 9:05

じゃんぷしてたのしかったっ。 # 9:05

みんなでじゃんぷしてたのしかた。 # 9:05



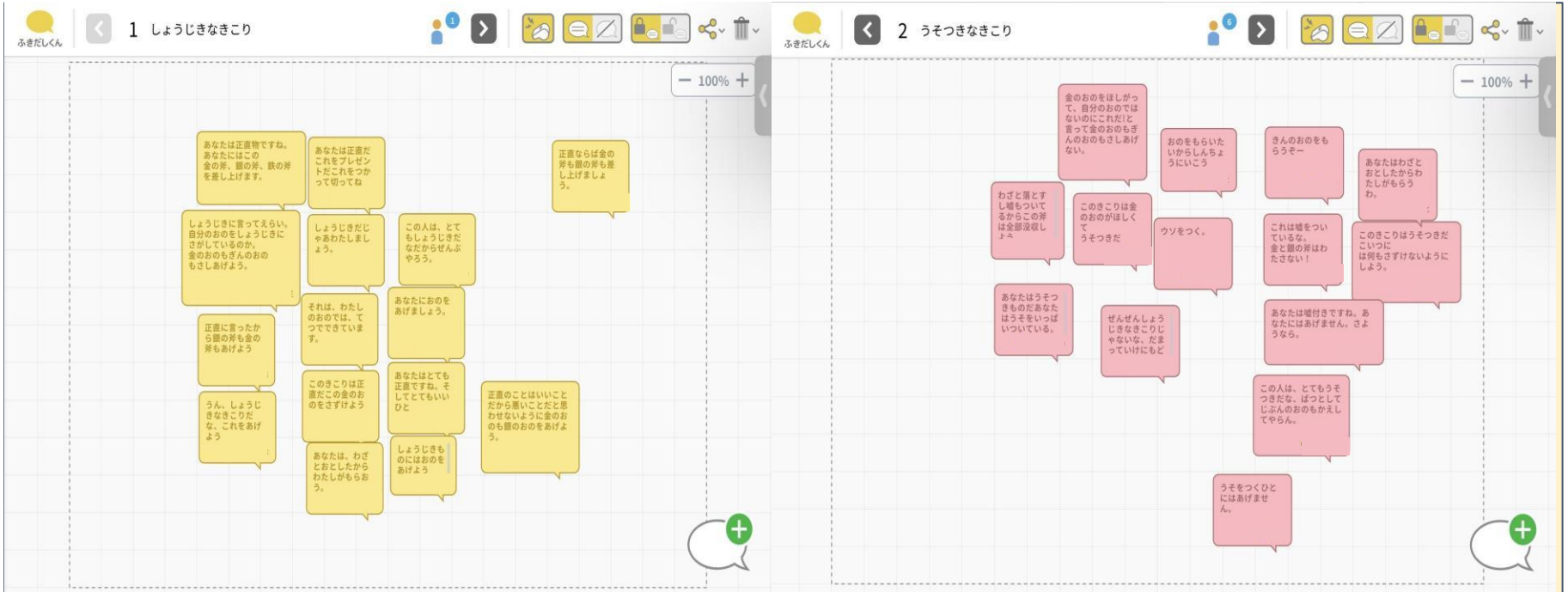
【実践について】

単元終了時の振り返りを学習支援アプリで共有する。

【成果と課題】

- 振り返りを即時に共有でき、感想の伝え合いができた。
- タブレット端末を使って、学びを振り返ることができ、自らの考えを深めることができた。

【2年 道徳 金のおの】 「付箋アプリによる共同編集・考え共有」



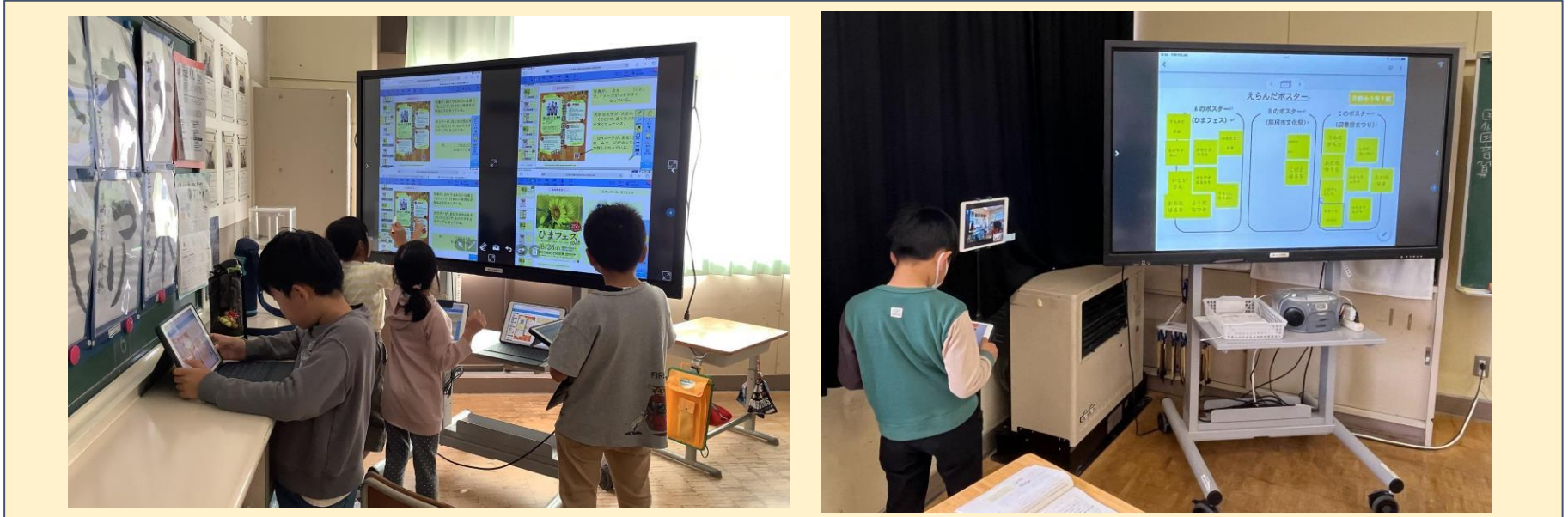
【実践について】

付箋アプリを活用して、児童全員の考えを一気に可視化することができる。

【成果と課題】

- 教師側から、他人の考えを見れなくできるため、一人で考える時間も取ることができる。
- 「いいね」機能を使い、教師側から瞬時にフィードバックができる。

【3年 国語 ポスターを読もう】「電子黒板で他者と比較、Jamboardによる情報選択の可視化等」



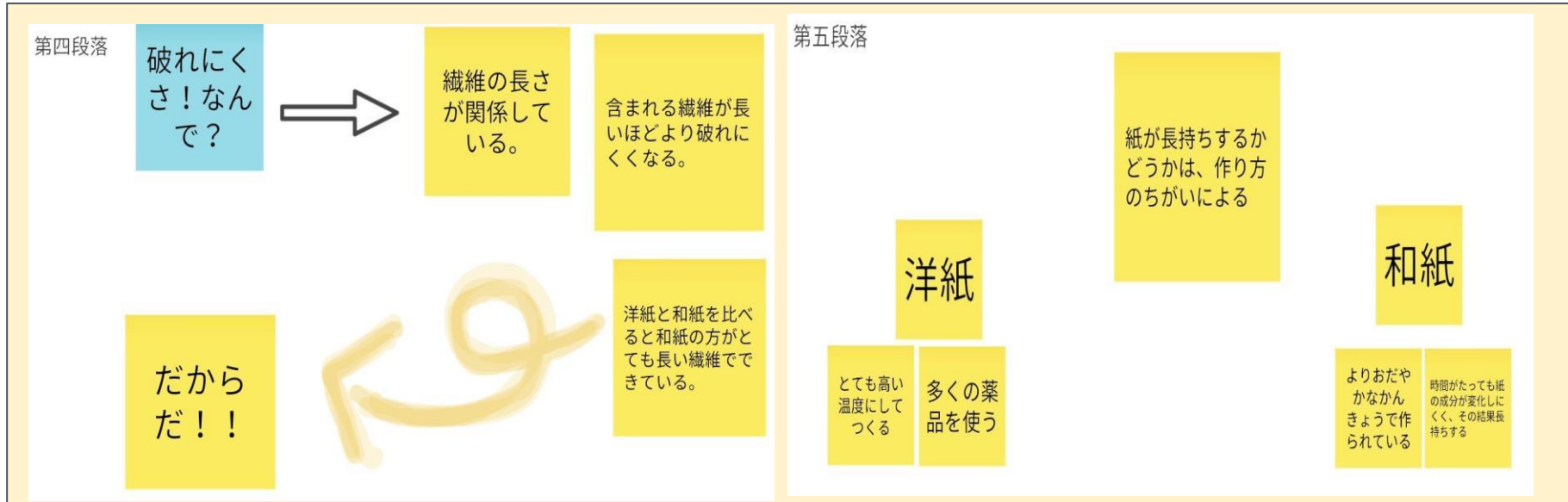
【実践について】

電子黒板にグループのワークシートを同時に表示することで、比較検討する活動が自然にできた。誰がどのポスターを選んだかJamboardで可視化した。

【成果と課題】

- 違うグループ同士が同じ画面に表示するとより効果が得られる。相談しながら電子黒板に気づきを書きこめる。
- オンラインで他校と繋いだことで、Jamboardを効果的に活用できた。

【4年 国語 世界にほこる和紙】「Jamboardによる情報収集等」



【実践について】

情報を抜き出し、矢印を引いたり、情報を動かしたりすることにより、段落別に情報を整理した。

【成果と課題】

- 収集した情報を動かすことができるため、整理しやすく、視覚的にも分かりやすい。
- ▲ 必要な情報とそうでない情報の選択、判断が難しい。

【6年 算数 比】「単元内自由進度学習の計画・実行表としてのスプレッドシート活用」

進め方	今やっている場所	計画	目指す方向	現在地の確かめ (最低10分ごと)	取り組み分析 (+ - →)	算数の学び (! ? ☆)
自分で	④P.144	★は少し、できれば交流する。でも進むのちやる(自分で)	すすむ (...)	☺	+今回は、よかった! 144の鉛筆問題が解けなかったのは少し残念だった... ⑤は次回の最初で終わらせよう! という努力をする!	
友達と	②P.142	友達とやる	高める	👉 交流希望!	友達と考えたから課題が進んだ	比の値 キーワード 比は等しい
自分で	②P.142	・まずは自分でやる。 ・困ったら友達とやる。	高める	☹	+ 困った時に友達と問題を解いたり、課題を考えたりした。 - 目的がなくてもお花畑に行ってしまった。 → 目的を持ってお花畑に行ったり月に行く時間を作ったりする。	
先生、友達	②P.142	☺ 入れる	高める (...)	☺	太陽入れられなかった 体調が悪かったから、途中寝た。	比には比の値と比には等しいというもある
先生、友達	②P.142	交流をする 困ったら友達と先生に聞いたりする	高める (...)	☺	交流できた!! (2人) 困ったとき、友達や先生に聞いた	比は等しいものがある!!
自分で	②P.142	太陽と月どちらにも行き、前半月で後半太陽に行く。太陽が少し多めで行く。月で疲れたら自分から短くお花または太陽にいきリフレッシュする。142ページを終わらせる	高める	☺	+月にたくさん行けた。月で疲れて太陽少しでも行けた。142ページを終わらせられた。 -まだ習ったことを理解しておらず鉛筆1の問題がほぼ当たらなかった。お花にも結構行ってしまった。 →習ったことを完全理解し、現在地を知るえんぴつ問題をやる。お花に行かないために行かされないようにする	比の値と比は等しいがわかった。比の書き方わかった

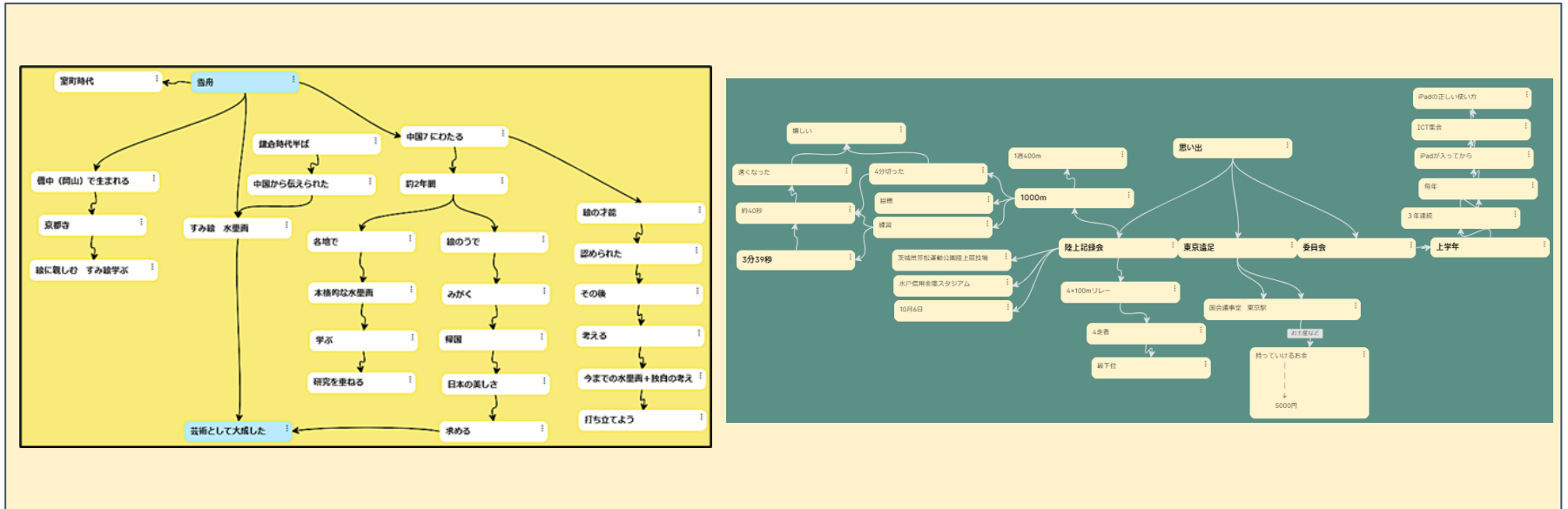
【実践について】

単元内自由進度学習を進める際の現在地を把握したり、自己の学び方を意識して調整したりすることができるようにした。

【成果と課題】

- 自己の学習への取り組み方を方向づけ、活動に対するメタ認知を促すことができた。
- 友達の現在地が可視化されるため、協働が生まれやすかった。

【6年 文章産出場面】 「Padletによる文章構成図の作成」



【実践について】

情報を抜き出し、その情報を動かすことで、論理構成を整えていく。

【成果と課題】

- 何を表現したいか、どのような順番で構成したいかなどが視覚的にはっきりする。
- ▲ どのように骨組みを立てるか考えたり、操作の仕方に慣れたりする必要がある。

【5年 社会 自動車をつくる工業】「オンライン社会科見学・授業」



【実践について】

オンラインビデオツールを活用して、自動車会社による社会科の学習を行った。第2回は実際に来ていただき、iPadを用いた体験的な学習を行う予定。

【成果と課題】

- 学習がより身近となり、意欲的に取り組むことができた。
- 移動時間のロスがなかった。
- ▲ BGMと声等の音量の調整が難しい。

【端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実】

・ローマ字指練習(柏市教育研究所)

<https://www.kashiwa.ed.jp/gakusyu/made/Typing/index.html>

正しい指づかいをしっかりと練習できます。

・ローマ字練習(熊本市教育センター)

<http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/kyouzai/web/Romaji01/index.html>

ローマ字をしっかりと覚えられます。

連らく

・教科書220ページ えんぴつ5と6

(答えは下校してから送ります)

音読[109ページ これがわたしのお気に入り]

🔑12日(金)漢字テストやります(漢ド19の11～20)

📷社会の学習家にある古いもの(はしら時計などの写真をとっておこう!

(おじいちゃん、おばあちゃんの家にあるものでもOK)

その他

4年生へむけて・・・**タイピング練習!**

・まずは**ホームポジション**

・慣れたら**日本語入力**

(1分間60文字いくと賞状がもらえるよ!)

社会

●**地図記号わかるかな?**

☆チャレンジしてみよう!

2年生のふく習

☆九九はかんぺきかな

学習の手引きのアプリを開いてみよう!

☆好きな科目→[学習に役立つオススメサイト]に

面白いサイトがたくさんあるよ!

【実践について】

学習支援アプリの連絡帳機能を活用し、家庭で取り組めるリンクを掲示することで、児童が自由に取り組める環境設定を行った。

【成果と課題】

- 既習内容だけでなく、児童の意欲に応じて未修内容にもチャレンジすることができた。
- タブレットを活用した情報収集に取り組める環境が整えられた。

【校内研修】 「協働編集・相互参照・非同期型の校内研修」

<p>4/25表現、評価</p> <p>主體的に取り組む態度に關しての評価で、単元の初めにするというの聞き、もっと授業への見通しをもたせ、子供がこの単元のゴールは何なのかを誰もがわかるように説明が必要だと思つた。その見通しを子供が理解し、そのゴールに向かってどのように自分なりの計画を持っているのかを見て、評価していきたい。</p> <p>この単元でどう見取るか、もっと教材研究をしなくてはと思つた。単元が始まる前に、その単元を通しての評価基準を設定しなくては、と思つた。教員も目標から「問い」を持って生活することが「これってどうしてかな」という子どもたちの問いにつながるのかなと思つた。</p>	<p>5/1見方・考え方</p> <p>見方・考え方を働かせるって本当に難しいなと思つた。今度回工でやってみようかなと思つた。つまづきかなくとも、トライ&エラーを繰り返していきたい。</p> <p>見方・考え方を働かせるって本当に難しいなと思つた。今度回工でやってみようかなと思つた。つまづきかなくとも、トライ&エラーを繰り返していきたい。</p>	<p>6/5個別最適な学び</p> <p>児童が安心して発表できるように「児童の答えを、×つけずにありのままを受け止める」ことを大切にしていきたい。そして、振り返りとして○・○・△を書いて終わってしまうので、これからどうするまで考えられる時間を取りたい。</p> <p>研修を受けてから、ある科目だけ、(1、2年生にブレゼンで教えてあげよう) 全体のめあての下に「自分のめあて」「ふりかえり」「次はどうしたいか」を書くワークシートを作つて活動してみました。「自分のめあては、一人一人違つていいんだよ」と言つて、「ほとんどノートを取らないTさんも書いていました。自分で目標を考えるのが難しいだろうと思つていたので、申し訳ない、と同時に、みんなやり方が違えばもっとやるのね?」と思つた。単</p>	<h3>評価について</h3>	<h3>校内研修の振り返り</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>校内研修①</td> <td>スタート (心理的安全)</td> </tr> <tr> <td>校内研修②</td> <td>評価①、見方・考え方</td> </tr> <tr> <td>校内研修③</td> <td>個別最適な学びとは</td> </tr> <tr> <td>校内研修④</td> <td>探究的な学び、評価②</td> </tr> <tr> <td>校内研修⑤</td> <td>指導案作成にあたって</td> </tr> </table>	校内研修①	スタート (心理的安全)	校内研修②	評価①、見方・考え方	校内研修③	個別最適な学びとは	校内研修④	探究的な学び、評価②	校内研修⑤	指導案作成にあたって
校内研修①	スタート (心理的安全)													
校内研修②	評価①、見方・考え方													
校内研修③	個別最適な学びとは													
校内研修④	探究的な学び、評価②													
校内研修⑤	指導案作成にあたって													

【実践について】

スプレッドシート、ジャムボードを用いてクラウドの利点を生かした校内研修を行った。また、研修スライドのリンクを共有し、見たいときに見られるように工夫した。

【成果と課題】

- 同僚がどんなことを考えているのかが一目で分かり、協働しやすかった。
- 「繰り返し資料を見ることができた」という声があった。

【地域内と情報が共有できる「今日の様子タイムライン」】

12/7

昨日の2,3時間目に、5年生がトヨタ未来スクールの出前授業を受けました。「くるまるわかりスクール」として、クイズやゲームをしながら、車づくりについて学習しました。企業としての利益だけを追求するのではなく、環境に配慮した取組も大切だということを学ぶことができました。



【実践について】

登録していただいた地域の方や保護者に、学校生活を知らせている。新たな学習スタイルの発信をしている。

【成果と課題】

- 日頃から、学習スタイルを地域や保護者に伝えられる。
- 新たな学習スタイルや取り組み方の様子を伝え、家庭や地域での話題を手軽に提供できる。